

しなののうた

山路ゆく川に沿い咲く釣舟草揺らぐ清かに秋風ぞ吹く



杉田小百合

しなののうた

廃屋の庭に盛るる柿の実に椋鳥あまた木を占領す

杉田小百合



しなののうた

ロマン継ぐ鬼無里の村の鬼女紅葉墓の小さく寺隅に座す



杉田小百合

しなののうた

刈り時の荏胡麻ばたかに青年の熊の足音指差し教ふ

杉田小百合



しなののうた

荒地でも荏胡麻は稔り耕せる青年明るく束を掲げり



杉田小百合